

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校(その1)

学校番号 29

評価実施日		令和7年2月18日(火)	
委員	氏名	所属等	備考

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 学習指導</p> <p>約8割の生徒、保護者が「分かる授業」「学力の向上」を感じられる学習指導ができています。個別最適な学びを今後も進めていただきたい。</p> <p>「分かる授業」の実践については、教員に対し、生徒の肯定的な意見がやや少ないようだ。その一割への対応が望まれる。</p> <p>生徒が自ら考え自ら学ぶ学習スタイルが確立され、すばらしい。</p> <p>家庭学習時間の減少は、どの学校も抱えている問題であると思う。</p>	<p>昨年度に引き続き、習熟度別クラス編成を実施していく。生徒の実態に応じた授業が実践できるよう、ICT等の活用を含めた教材開発に取り組む。</p> <p>来年度の授業評価アンケートにおいては、Eils-PBTを活用しながら、生徒が自分の意見を記載しやすいように様式を変更する。</p> <p>個別最適な学習をさらに実践していくため、授業だけでなく日々の営みの中で生徒と積極的に関わっていく。</p> <p>主体的に活動する生徒は多く見受けられる。班活動やペアワークなど、仲間との関りを通して、一人一人が達成感を得られるような授業の展開を工夫していくなかで、家庭学習もさらに充実するような課題学習の研究に努めて取り組む。</p>
<p>(2) 生活指導</p> <p>基本的な生活習慣の確立に向けた指導を今後ともよろしくお願ひしたい。</p> <p>挨拶や清掃、遅刻を減らす取組など、基本的な生活についての指導が熱心にされてる。</p> <p>生徒は挨拶がよくでき、気持ちのよい対応ができています。交通ルールも守れている。</p>	<p>コミュニケーションの第一歩として、受け身ではなく自ら進んで挨拶できる生徒を増やしていけるよう指導していきたい。</p> <p>規範意識や交通マナーなど、事件や事故、問題行動に直結する項目については、だいたいできてはいるのではなく、きちんとできる、いつもできるを徹底していく必要がある。粘り強く、期を逃さず指導を続けていきたい。</p> <p>身だしなみや時間を守ることは、自分自身の信頼につながる内容である、社会生活の中でとても重要であることを理解させ、現行のルールを守りながら、様々な意見を反映させ、時代に合わせて柔軟に対応していきたい。</p>
<p>(3) 特別活動</p> <p>生徒が主体となって行事運営に携わることができています。</p> <p>運動会やグループマッチなどの生徒の満足度の高さに対し、先生方が低いので、ねらいが一致していないようだ。</p> <p>全国大会への出場や、土日の地域連携活動が増えてきており、先生方の負担が増えているのではないかと心配である。</p> <p>地域行事(夏祭り、文化祭、社会福祉ボランティア等)において伊予高の存在感が大きくなっている。地域にとって、なくてはならない高校になっている。</p>	<p>学校行事は本校の大きな魅力の一つである。昨年度以上に仲間と協力し活動する姿が多く見られた。保護者や地域の方へ本校の学校行事を公開できたことも生徒たちが意欲的に活動できた原因の一つであると考えられる。さらに大きな成長の機会となるよう引き続き充実させたい。</p> <p>部活動加入率は92.5%と高く、多くの生徒が熱心に活動できている。引き続き、限られた時間の中で指導方法の工夫・研究を行い、生徒の多様な学びの場になるようにしていきたい。なお、教員の負担を軽減するために複数の顧問を配置したり、部活動指導員を活用している。</p> <p>地域との連携についても活動の機会が少しずつ広がっており、協力依頼も増えてきた。各種ボランティア活動に参加したい生徒も多く、今後必然的に増えてくると思われる。</p>

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校（その2）

学校番号 29

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 進路指導 進路指導をホームルーム担任だけでなく、多様な立場の教員が行っていて、大変よい。</p> <p>生徒、保護者とも高い値となっており、充実ぶりが感じられる。</p> <p>出口の保障をしっかりとしていくことが大切だ。新学科の内容にあった、職業研究が必要になってくる。</p>	<p>進路指導は担任が中心となって行っているが、必要に応じて学年の先生や進路課員なども面談を行っている。特に、小論文や面接指導は全教員で分担して指導するようにしている。</p> <p>今後も早めに進路目標を持たせることができるよう情報提供を行うとともに、担任や学年、教科との連携を更に図り、進路実現に向けた学習指導が行えるようにしていきたい。</p> <p>大学等と連携した新学科設置に係るプレ事業を活用し、大学での学びやその先の職業への理解を深め、進路選択に生かすようにしていきたい。</p>
<p>(5) 人権教育 よりよい人間関係の構築のためにも、人権教育の推進をお願いしたい。</p> <p>アンケート結果から取組の充実ぶりが感じられる。</p> <p>ホームルーム活動への取組が消極的な生徒に目を向けた指導をお願いしたい。ちょっとした変化に気付く能力を教員が養うことが大切である。</p>	<p>ホームルーム活動のほか、人権委員会による人権デーや文化祭、全校集会での活動を今後も続け、人権に対する意識付けをしていきたい。職員研修を行い、生徒の変化に気付くような雰囲気づくりに努めたい。</p>
<p>(6) 読書指導 読解力の育成、活字離れを防ぐためにも読書の推進をお願いしたい。</p> <p>図書委員会など生徒からはたらきかけが、読書意欲の向上に効果があるのではないか。</p> <p>目的や意義を周知して、読書に取り組みさせる必要があると思われる。</p>	<p>図書委員による啓発活動は文化祭と全校集会での発表が主になっている。ホームルーム内でも図書委員による啓発活動が行えるよう、指導していきたい。</p> <p>授業で図書館を利用する機会を増やし、情報や知識の獲得手段として本の役割を再確認させたい。</p>
<p>(7) 学校経営 探Qをはじめ、特色ある学校経営が推進されており、地元中学生の志望も増えている。中高連携という観点からの指導をお願いしたい。</p> <p>業務の効率化が進んでいるようで、参考にしたい。</p> <p>一人も取り残さない教育の実践（学習・生活）を今後とも実践してほしい。特に悩み対応の教育相談の充実が大切かと思う。</p> <p>地域連携については、数値目標は達成しているものの、生徒と教員の思いにずれがあり、気になる。</p> <p>学校に誇りの持てる生徒づくり、校風づくり（愛校心）、教職員づくりを期待する。</p> <p>生徒の学校への愛着度・満足度を上げることに一番力を入れてほしい。</p>	<p>募集定員200名に対して入学志願者242名となり、8年ぶりに定員を充足する見通しとなった。一人一人を大切にしたい教育の取組や探Qをはじめとする地域と協働した実践的な学びなど、これまで本校が力を入れてきた取組への高評価ととらえたい。来年度は、地域と協働した学びの中身や教育相談体制などを精査し、入学した生徒一人一人を大切にしたい教育にこれまで以上に力を入れるとともに、学校への愛着や満足度を高めたい。</p> <p>来年度は、県立学校振興計画に基づいた理数情報科、芸術科の設置、教員養成コース対象生徒の受検など、本校創設以来最も大きな変革の年である。地域や大学、地元企業等の想いを大切にしながら、松前町唯一の県立高校として地域から愛される学校づくりに努めるとともに、生徒が安心して学ぶことができる学習環境の整備にも取り組むたい。</p>